

経済・金融  
フラッシュユーロ圏失業率(2023年11月)  
—失業率は6.4%に低下

経済研究部 主任研究員 高山 武士

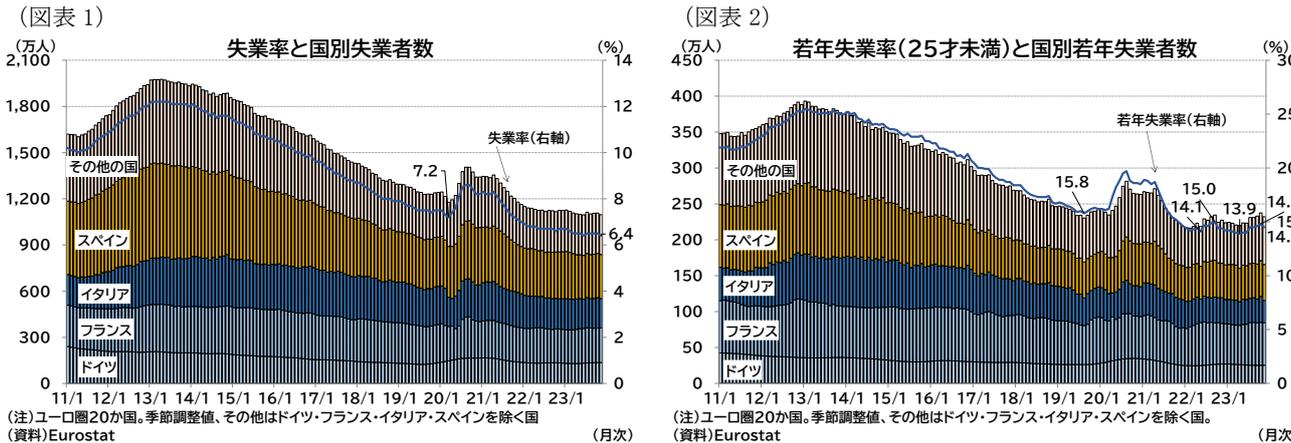
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

## 1. 結果の概要:失業率は6.4%に低下

1月10日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

## 【ユーロ圏失業率(20か国、2023年11月、季節調整値)】

- ・失業率は6.4%、市場予想<sup>1</sup>(6.5%)より下振れ、前月(6.5%)から低下した(図表1)
- ・失業者は1097.0万人となり、前月(1106.9万人)から9.9万人減少した



## 2. 結果の詳細:若年失業率も低下

ユーロ圏(20か国)の11月の失業率は6.4%で、10月からやや低下した。過去データはほとんど改定されず、統計データ公表以来の最低値を記録した(11月のほか6月も6.4%で最低値)。

失業者数は11月の前月差で9.9万人減となり、9・10月は2か月連続で計5.3万人増となったが、11月は減少に転じ、減少幅も大きかった(図表3・4)。主要4か国では、ドイツ(+0.5万人)、フランス(+0.1万人)が小幅増加し、フランス(+0.8万人)、イタリア(▲6.6万人)、スペイン(▲1.6万人)は減少した。

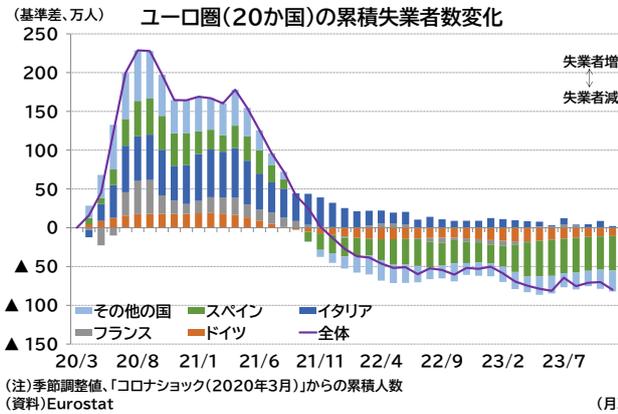
11月の若年失業率は14.5%で、10月(14.8%)から減少した。また、過去データはわずかに改善方向に改定されている(10月改定前14.9%→改定後14.8%)。若年失業率は4月(13.9%)をボトムに上昇傾向が継続している形になっているが、10月の下方修正と11月の改善により、上昇ベ

<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

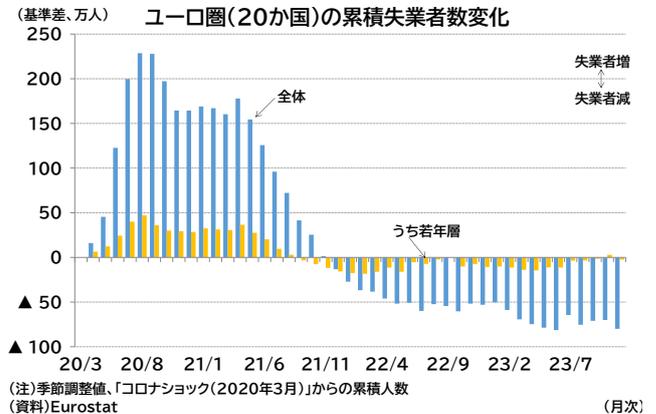
ースはかなり緩やかになっている（前掲図表2）。

若年失業者数は11月で232.1万人（前月差▲5.4万人）となり、10月まで4か月連続で増加していたが、11月は減少に転じた。その結果、11月はコロナショック直前の水準（20年3月の234.6万人）を再び下回った（図表4）。

（図表3）

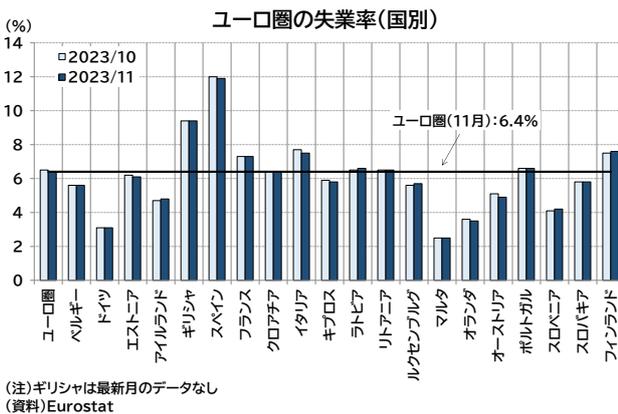


（図表4）

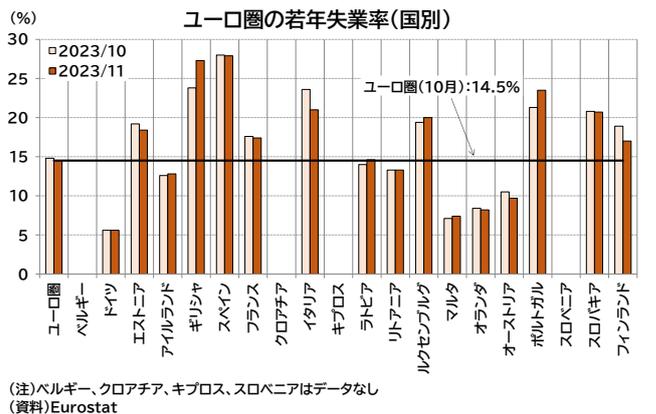


国別の11月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が5か国、改善が6か国、横ばいが9か国だった（図表5）。また、若年失業率はデータが公表されている16か国中、悪化した国が6か国、改善が8か国、横ばいが2か国だった（図表6）。

（図表5）

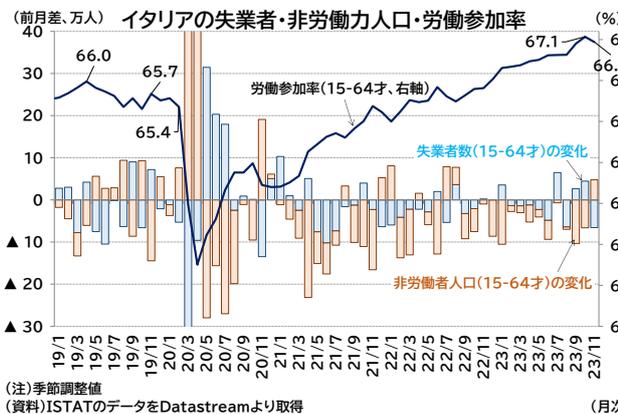


（図表6）

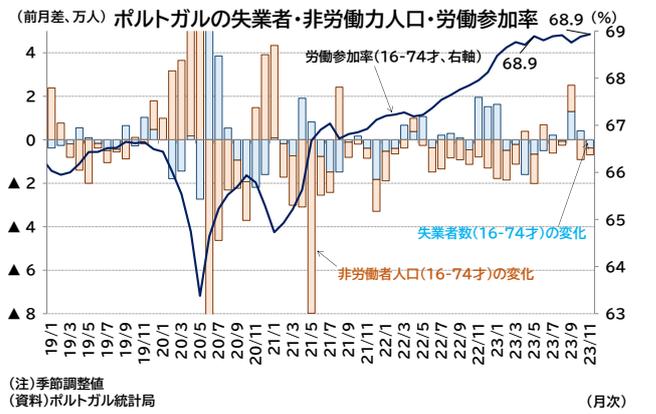


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少し、就業者と非労働力人口が増加した（図表7）。一方、ポルトガルは失業者と非労働力人口が減少し、就業者が増加した（図表8）。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。